

建畠 哲

Tatehata Akira

(詩人、多摩美術大学学長)



年末恒例の「回顧'16と展望'17」を企画した。建畠哲氏に現代美術の今と美術館の役割を、笠井誠二氏に現代作家の立ち位置とその可能性について語って頂いた。

2016年末特集

回顧'16と

展望'17

Review 2016 and Preview 2017

笠井誠

(洋画家、立軌会同人)



現代作家は何処に立つ
—時代の要請と可能性

特別
寄稿

真の新進作家支援を
求めて改革を継続

五十嵐 駿 損保ジャパン日本興亜美術館学芸課長

インタ
ビュー

美術品の「夢」
—信念を持った長期戦略を

中村 純 東京美術商協同組合理事長、東京美術俱楽部取締役副社長
東美特別展実行委員会、中村好古堂代表取締役

その他

美術評論家、美術館関係者、美術家、美術商36名に美術界、美術市場の活性化のための思いを寄稿、インタビュー、アンケートによりご回答頂きました。

年末回顧特集

「新美術新聞」の詳細情報はコチラ▶ 美術年鑑社HP <http://art-annual.jp>